

兵庫県水産技術センターだより

硝酸塩センサー観測情報 SE-1-02号

2020年1月29日発行

※この調査は調査船に搭載した自動観測センサーを用いて、航行中に硝酸塩（NO₃-N）濃度を測定したものです（比色分析した値ではありません）。海域のDIN濃度の変動状況を見る目安としてご活用下さい。硝酸塩濃度は、概ねDIN濃度と連動しますが、港湾や陸域からの水の影響が及ぶ海域等を中心に、DIN濃度はこの値よりも高い値を示します。

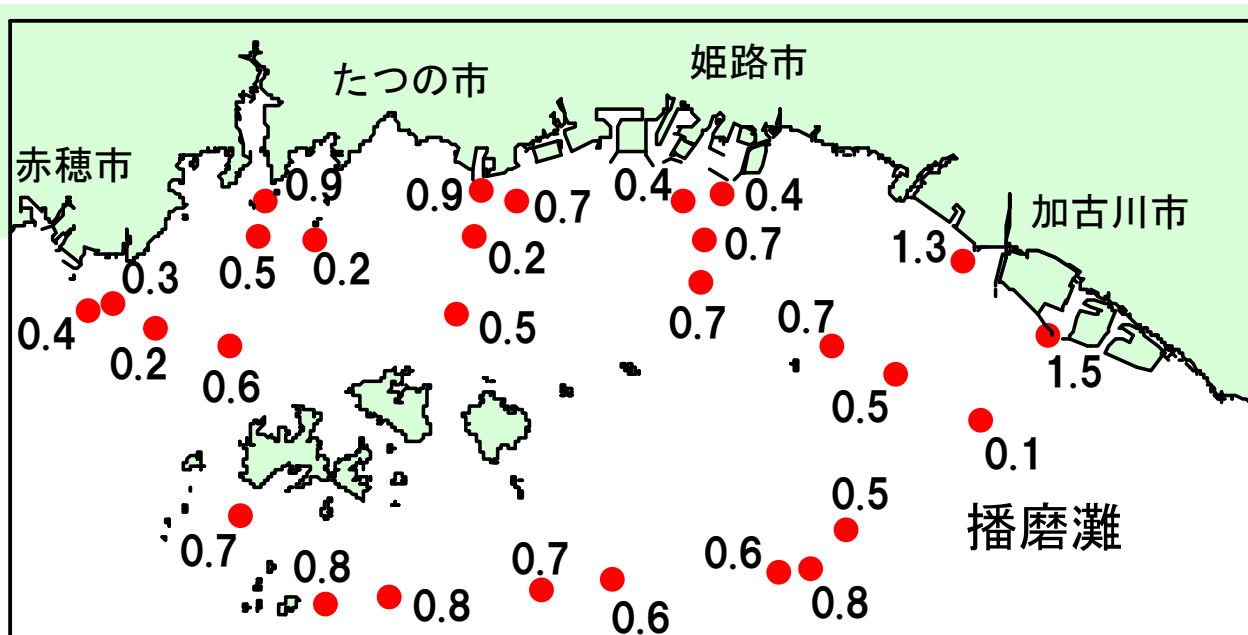
2020年1月29日に播磨灘北西部の海域で、調査船に搭載したセンサーを用いて硝酸塩を観測しました（観測値は補正した値です）。



【概況】

この海域の硝酸塩濃度は全体的に低い状況でしたが、加古川、揖保川の河口域周辺及び港湾域や沖合では比較的高い数値を示していました。

【観測結果】



硝酸塩（NO₃-N）濃度観測値（μmol/L、数値は補正していますが目安の値とお考え下さい）

- ・本観測は不定期で実施します。
- ・お問い合わせ先 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部）
Tel：078-941-8601、Fax：078-941-8604、Homepage：http://www.hyogo-suigi.jp/

【その他】

DIN（溶存態無機窒素）= NO₃-N（硝酸態窒素）+ NO₂-N（亜硝酸態窒素）+ NH₄-N（アンモニア態窒素）